

 (東証スタンダード市場：6848)

**2022年度3Q累計
(2023年3月期 第3四半期)
決算補足説明資料**

東亜ディーケーケー株式会社

2023年1月

- **売上高**：受注高は高水準も、部材調達の長納期化の影響により
売上計上には至らず減収
(国内) 官公需は例年並み、民需は堅調で受注は計画を上回る水準も減収
(海外) 主に中国のゼロコロナ政策の影響を大きく受け減収
- **利益**：減収・部材価格高騰や円安による原価率上昇・販管費増加により減益

(単位:百万円)

	2021年度 3Q累計実績	2022年度 3Q累計実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	11,787	11,269	△517	△4.4%
営業利益 売上高比	1,377 11.7%	880 7.8%	△497	△36.1%
経常利益 売上高比	1,419 12.0%	921 8.2%	△497	△35.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	963 8.2%	709 6.3%	△253	△26.3%

計測機器事業（減収減益）

売上高11,087百万円（4.4%減）、セグメント利益1,458百万円（20.2%減）

■国内売上高：受注は高水準で好調も、部材調達の長納期化の影響により売上計上には至らず減収

- ①環境・プロセス分析機器：官公庁向けは例年並み。民間企業向けは半導体設備関連設備の旺盛な需要を背景に受注好調も足元は減収。
- ②科学分析機器（ラボ用分析機器・ポータブル分析計）：受注堅調も足元は横ばい
- ③医療関連機器（主に粉末型透析用剤溶解装置）：受注好調も微増収にとどまる
- ④電極・標準液、保守・修理及び部品・その他：保守点検が計画通り行われ増収

■海外売上高：主に中国のゼロコロナ政策の影響を大きく受け減収

■利益：減収・部材価格高騰や円安による原価率上昇・販管費増加により減益

不動産賃貸事業（減収減益）

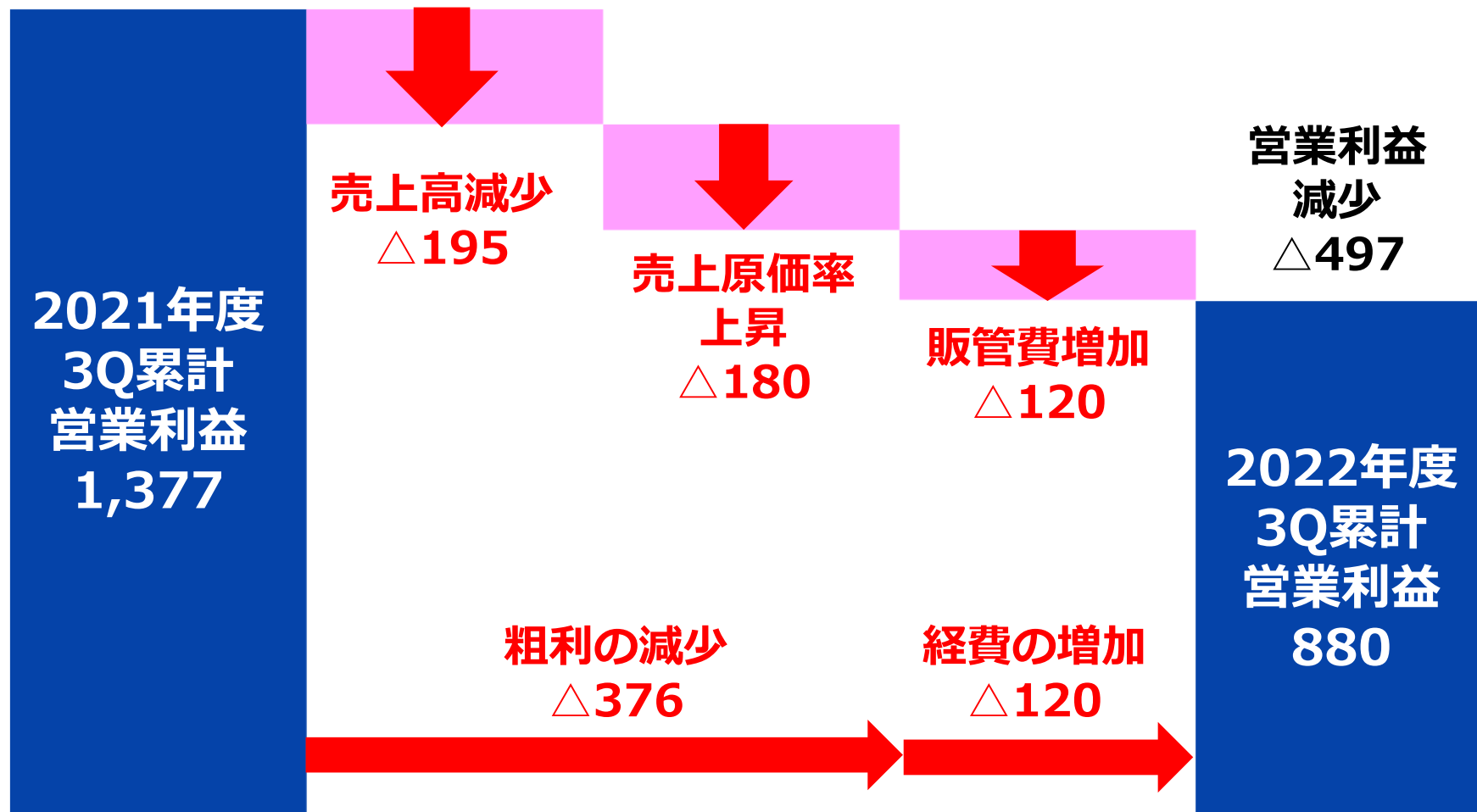
売上高182百万円（5.5%減）、セグメント利益108百万円（11.6%減）

■主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

営業利益の増減分析

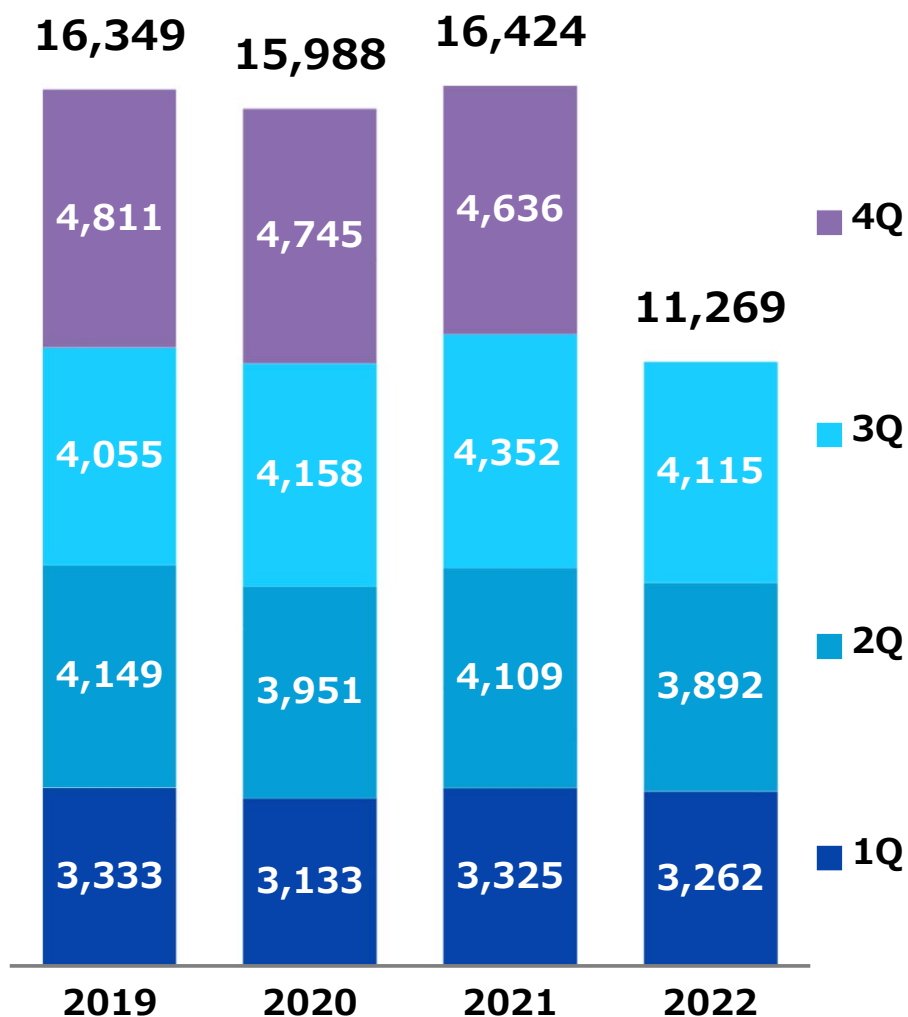


(単位:百万円)

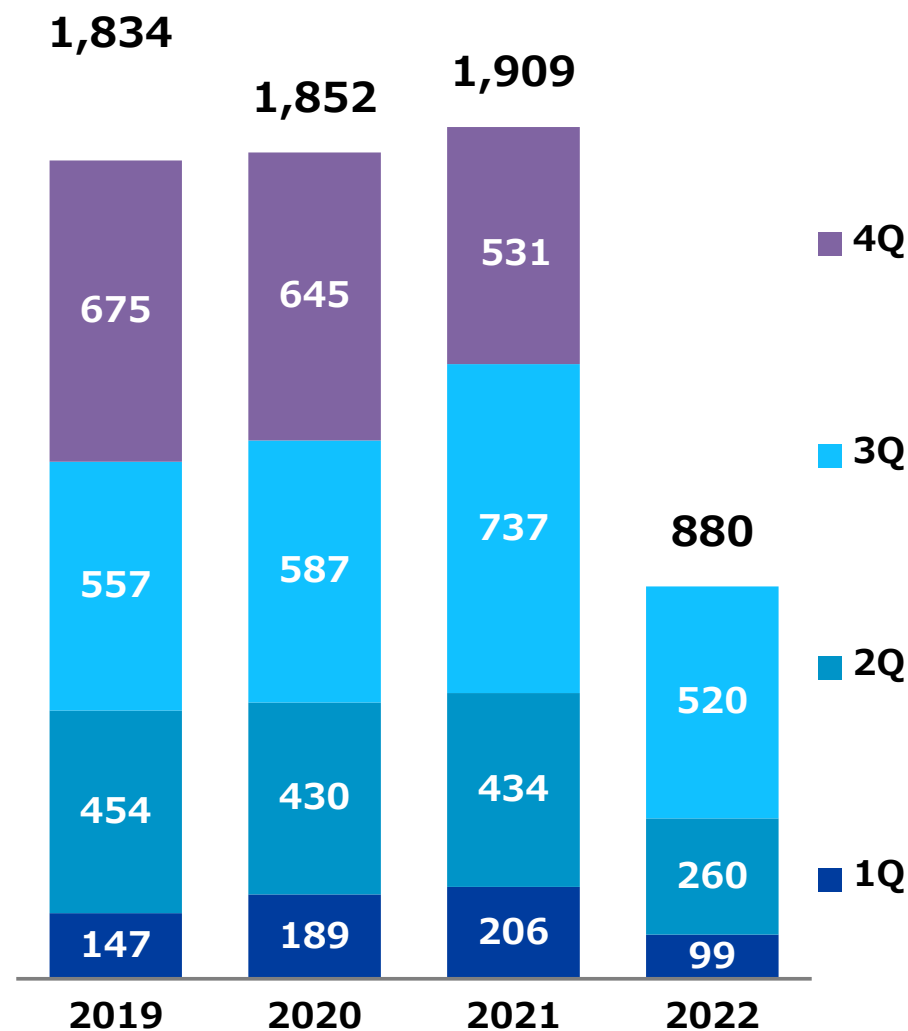


(単位:百万円)

売上高

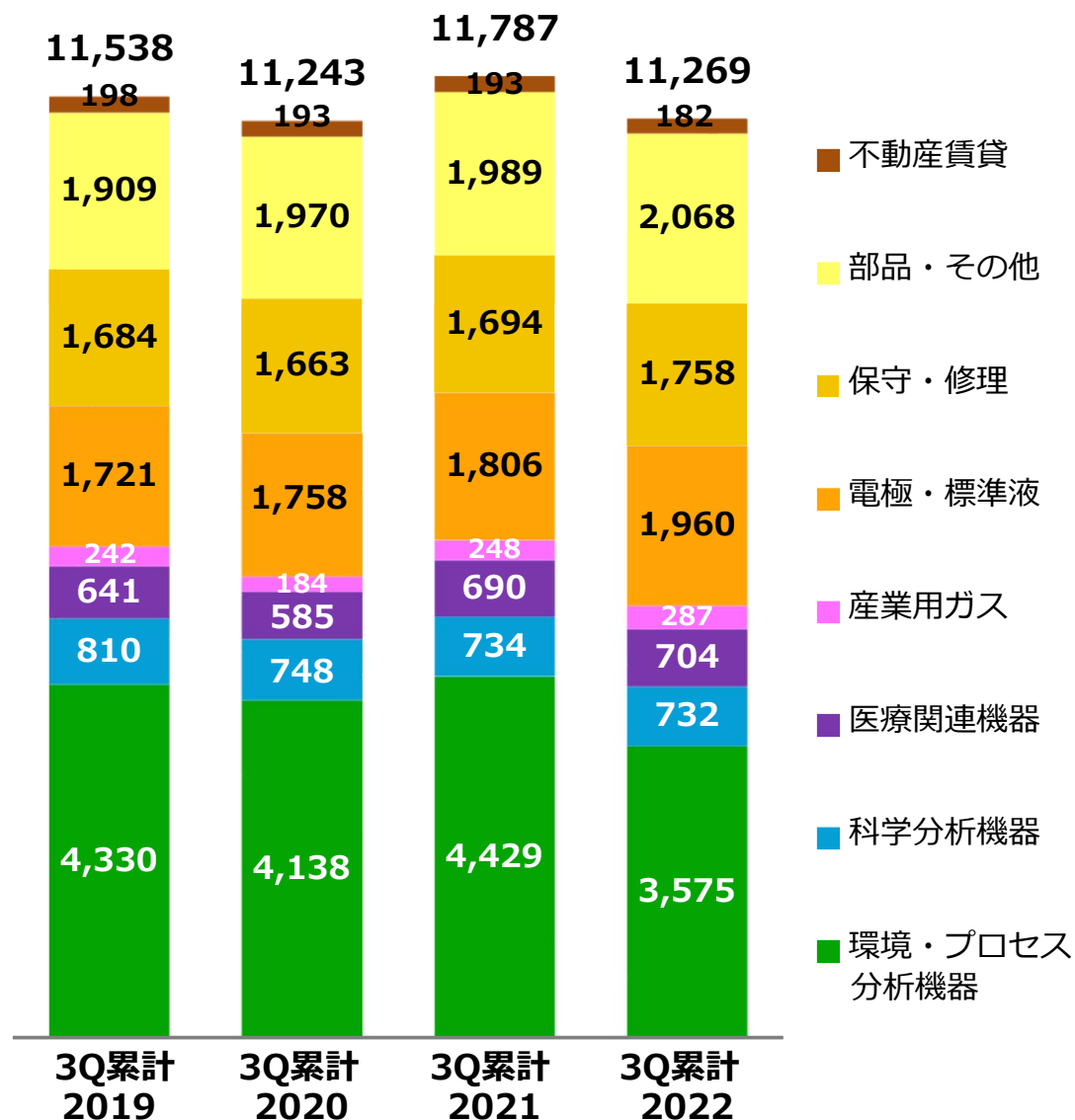
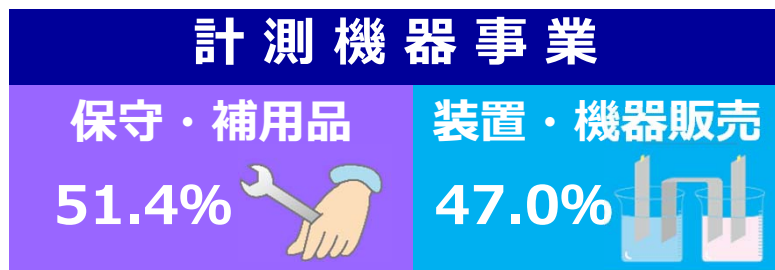
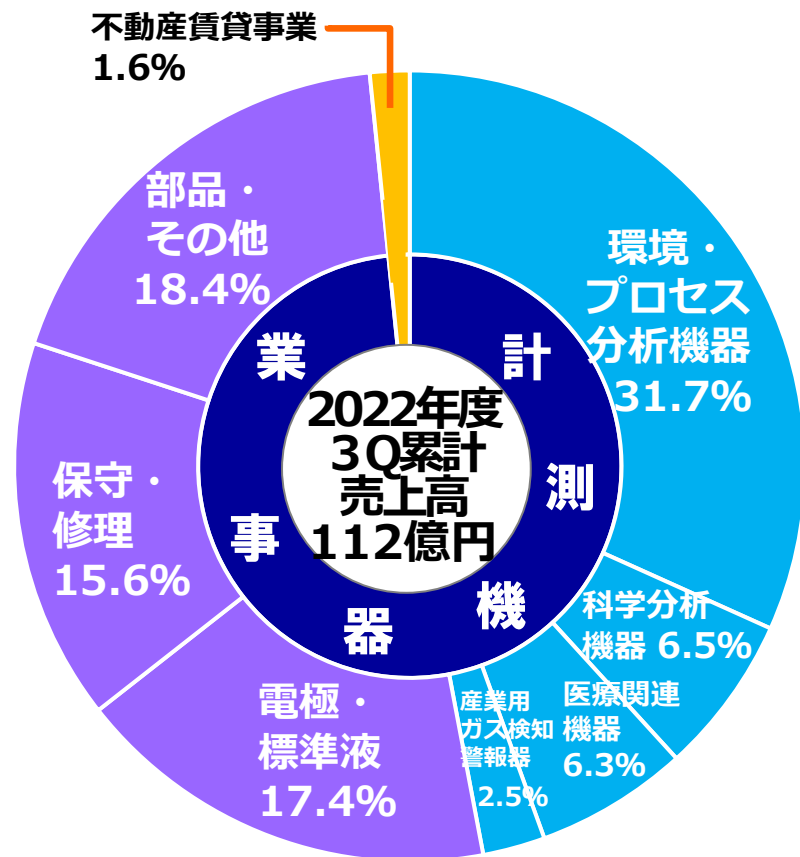


営業利益



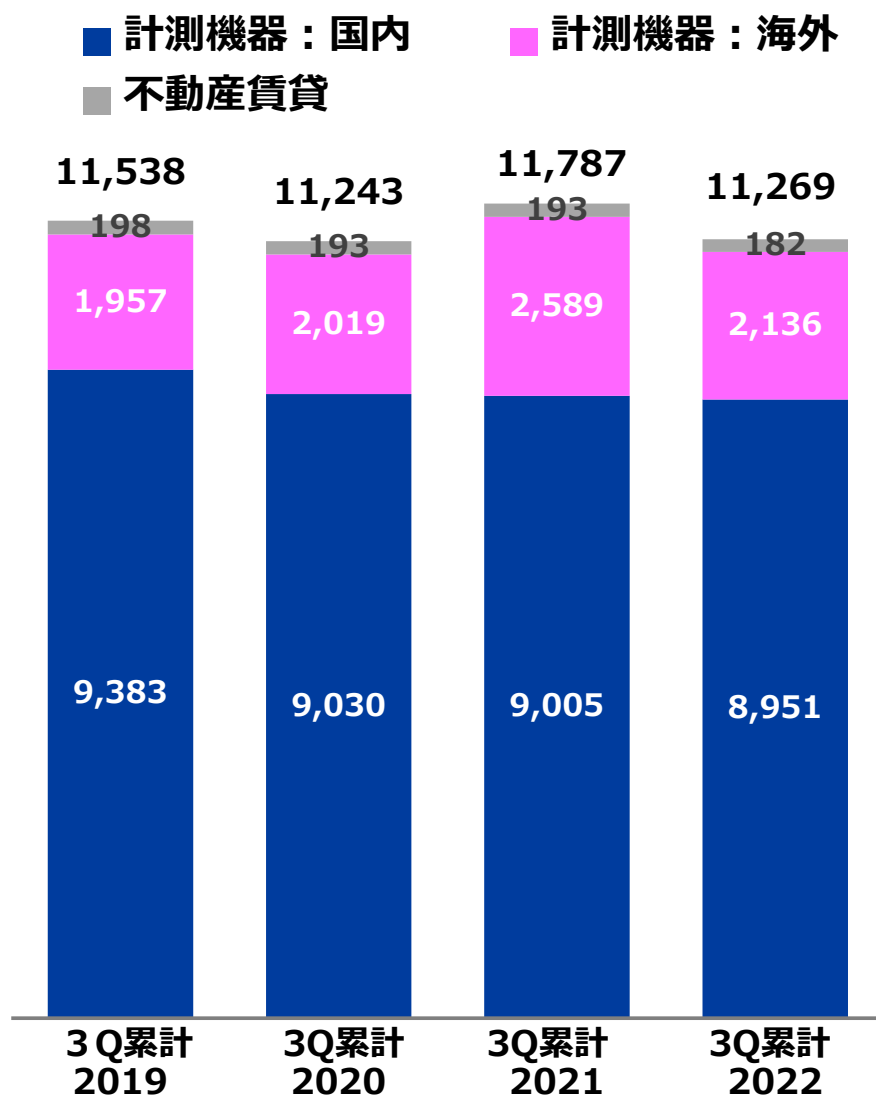
分野別構成比と売上高推移

(単位:百万円)

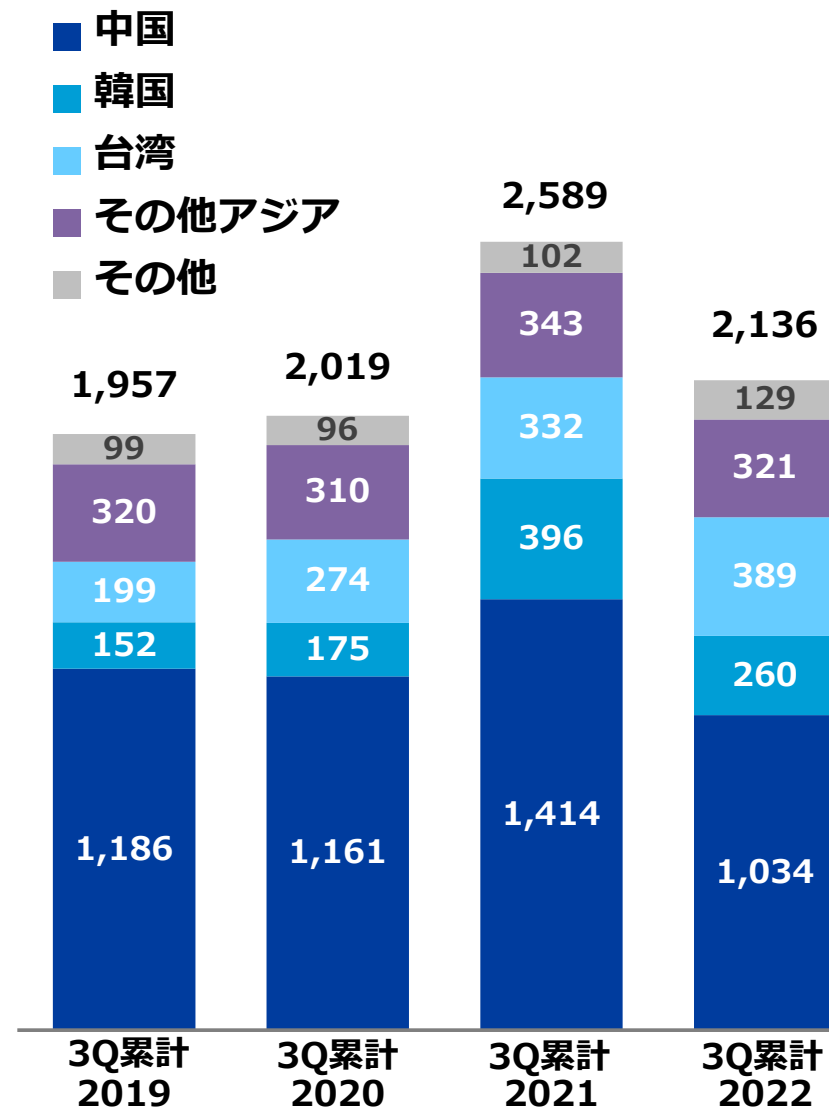


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しておりますので、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しておりますので、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社

経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：https://www.toadkk.co.jp/